



第5章 施策の展開

1. 「する」スポーツの推進

(1) スポーツイベントの充実

スポーツには様々な種目があり、競技スポーツ以外にも、レクリエーションスポーツや、健康体操などがあります。一人でも多くの市民が、そのニーズにあったスポーツに出会い、スポーツを続けることができるよう、初心者への支援や、レクリエーションスポーツの普及を図るとともに、スポーツイベント、運動教室、出前教室などを多く開催します。

① 初心者への支援

主な取組み	概要	運営主体	連携
下松レクフェスタ チャレンジスポーツ ニュースポーツ教室	スポーツイベントなどでニュースポーツの紹介などを行っているほか、総合型地域スポーツクラブ、スポーツ少年団などでは、初心者への対応をしている。	市生涯学習 振興課 総合型地域 スポーツクラブ	スポーツ少年団

今後の展開	ライフステージ
活動を通じて、参加しやすい環境づくりや仲間づくりを図る。 ・市が主催するイベントにおいて、初心者を迎え入れ仲間づくりを推進 ・初心者が参加できる教室の案内や教室内容の情報の提供を充実 ・指導者の研修を通じて、初心者への対応力を向上	幼児期 学童期 思春期 青年期 中年期 高齢期

② レクリエーションスポーツの普及

主な取組み	概要	運営主体	連携
短期スポーツ教室 ニュースポーツ機器整備 チャレンジスポーツ大会 ノルディックウォーキング	市広報及び市ホームページ、情報誌「スポーツネットきらら」などを通じて情報提供し、スポーツ教室の拡充、指導体制の充実などを進めている。	市生涯学習 振興課	スポーツ推進委員

今後の展開	ライフステージ
みんなが楽しみ、スポーツの継続ができるしくみづくりを図る。 ・情報発信を工夫し、より多くの人にレクリエーションスポーツを普及 ・新たに実施するニュースポーツの選択や講習会の実施 ・ノルディックウォーキングの推進を強化	幼児期 学童期 思春期 青年期 中年期 高齢期





③ スポーツ大会

主な取組み	概要	運営主体	連携
ゲートボール大会 市民体育祭 下松駅伝競走大会 ウォークラリー大会 下松レクフェスタ	各種大会を開催しているほか、学校体育館なども社会体育の視点から市民開放を実施している。スポーツイベントを支える体制づくりとして、スポーツ関係団体と連携し、参加しやすい工夫を検討しながら進めている。	市生涯学習振興課	スポーツ関連団体 スポーツ推進員 学校

今後の展開	ライフステージ
スポーツイベントへの参加者の増加を図る。 ・レクフェスタで、成年を含む幅広い年齢層など、より多くの市民の参加促進 ・初心者への参加を目的としたイベントを開催し、参加者の増加促進	幼児期 学童期 思春期 青年期 中年期 高齢期

④ 運動教室

主な取組み	概要	運営主体	連携
水泳教室 短期スポーツ教室	水泳に関心がある児童が対象の3～5日間の教室を開き、参加した児童の水泳のスキルと意欲の向上を図るとともに、指導者の水泳指導のスキルアップの機会にもしている。 軽スポーツを紹介することで、スポーツ活動への積極的参加と地域コミュニティの活性化を図っており、各公民館の状況に合わせて取り上げる種目を選んでいる。	市生涯学習振興課	学校 公民館 スポーツ関連団体

今後の展開	ライフステージ
運動を長く楽しむことを普及し、運動する人の増加を図る。 ・児童に向けた水泳教室の継続実施 ・水泳教室の開催において、下松市水泳連盟と連携した指導者の確保 ・短期スポーツ教室の全公民館の実施及び継続と参加者の増加促進 ・ノルディックウォーキング教室（初級2 km・中級5 km・上級20 km）の開催	学童期 思春期 青年期 中年期 高齢期





⑤ 出前教室

主な取組み	概要	運営主体	連携
各団体への訪問による運動啓発	学校、公民館、いきいきサロンなどさまざまなところへ講師を派遣し、軽運動や、運動の実施に関する啓発・教育を行っている。	市生涯学習振興課	学校 公民館 社会福祉協議会

今後の展開	ライフステージ
<p>出前教室の周知及び指導者の増加を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・より多くの団体に活用してもらえるよう広報や声掛けなどの推進 ・講師やインストラクターとなる人の発掘により、出前教室の量や質、種類の充実 	<p>幼児期 学童期 思春期 青年期 中年期 高齢期</p>





(2) 学校スポーツの推進

青少年期は幼児期とともに、生涯にわたる心身の礎を築く大切な時期です。この時期に、学校体育を充実させ、体力向上の取組みを行うことによって、高い体力水準を得ることができます。学校と連携を図りながら、体育学習の充実、運動系部活動の充実、家庭との連携を図りながら運動する楽しさの啓発をします。

① 体育の充実

主な取組み	概要	運営主体	連携
体育授業 1校1取組み スポーツ活動調査	各学校における新体力テストの分析及び子どもの体力向上に向けた取組み計画を作成し、体育の授業改善と充実、1校1取組みの実施、家庭・地域との連携、運動系部活動やスポーツ活動割合の増加などを図っている。	学校	県教育庁学校安全体育課

今後の展開		ライフステージ
運動を楽しむことや基礎体力の向上をめざす。 ・1校1取組みにおいて、基礎運動能力の向上 ・スポーツ活動調査の継続実施 ・体育授業を通じて、運動の楽しさを体感できる指導を実施 ・運動の重要性を授業の中で啓発		学童期 思春期

② 運動系部活動の充実

主な取組み	概要	運営主体	連携
運動系部活動の推進	中学校では多くの生徒が運動系部活動に所属している。高等学校に進学すると運動系部活動に所属している生徒は減少している。	学校	外部指導者

今後の展開		ライフステージ
運動系部活動の活性化を図る。 ・運動系部活動の内容充実 ・運動系部活動指導者の育成・研修の実施 ・運動の楽しさの啓発		思春期

③ PTA・地域などの運動の充実

主な取組み	概要	運営主	連携
PTA保健活動	学年PTAで親子運動の実施、学校保健委員会でのコーディネーショントレーニングについての啓発・実施、並びに長期休みを使った親子トレーニングの紹介、実施をしている。	PTA	学校

今後の展開		ライフステージ
親がスポーツを楽しむことで子どもも運動の楽しさを知る。 ・参加促進の広報を充実 ・親子の参加により、親同士、親子同士の交流促進		学童期 思春期 青年期 中年期





(3) 競技スポーツの振興

競技スポーツ振興のため、体育協会との連携を深め、地域のスポーツ活動や体育協会主体の活動を支援します。

① 体育協会

主な取組み	概要	運営主体	連携
全国大会出場激励金交付 各種表彰	23団体の登録があり、各種スポーツ活動を行っている。全国大会出場激励金交付、会長賞などの授与や体育功労賞の県への推薦などで、競技力向上を図っている。また、下松駅伝や国体下松市代表選手団壮行会を市と共同で開催している。	体育協会	市生涯学習振興課

今後の展開	ライフステージ
体育協会の組織強化を図る。 ・体育協会加盟団体の協調性を強化 ・行政との関わり方に関し自主運営の強化	学童期 思春期 青年期 中年期

(4) 生涯スポーツの推進

年齢や性別を問わず、だれもが生涯にわたって日常的にスポーツを楽しむことができるよう、総合型地域スポーツクラブやスポーツ少年団などの活動を支援したり、健康体操教室を開催したりします。

① 総合型地域スポーツクラブ

主な取組み	概要	運営主体	連携
・スポーツ教室 ・交流大会の開催 ・トップアスリートによる種目別教室の開催	1ヶ所の総合型地域スポーツクラブ「くだまつ絆星スポーツクラブ」があり活動を行っている 〔活動内容〕 ・ラージ硬球卓球・パドルテニス・ジュニアハンドボール・バドミントン・ナイトランニング・太極拳・ニュースポーツ・ハイキング・ノルディックウォーキング・ヨガ	くだまつ絆星スポーツクラブ	市生涯学習振興課 スポーツ施設

今後の展開	ライフステージ
総合型地域スポーツクラブの内容充実の推進を図る。 ・サークル数や会員数の増加、指導者の確保を図り、自主運営への移行を促進 ・活動場所の確保	学童期 思春期 青年期 中年期 高齢期

